

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 516 号	氏名	劉 格
学位審査委員		主 査	安田 二郎
		副 査	森内 浩幸
		副 査	森田 公一
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、薬用植物由来化合物ペンタガロイルグルコース (PGG) の抗 A 型インフルエンザウイルス (IAV) 活性を解析し、新規抗ウイルス剤としての可能性を検討するものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 IAV に対する PGG の有効濃度および細胞毒性の検討、IAV 表面糖タンパク質 HA と PGG の結合に関する <i>in silico</i> 解析、更には共焦点レーザー顕微鏡や電子顕微鏡を用いた解析など多様な研究手法を駆使して PGG の抗 IAV 作用機構の解明を試みており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PGG が IAV に対して抗ウイルス活性をもつことが明らかになった。また、その作用機構についても、(1) PGG が HA の受容体結合部位に結合して細胞へのウイルス侵入を阻害する可能性、および、(2) PGG が cofilin の抑制を介して F-アクチンの重合阻害を引き起こしてウイルスのアッセンブリー・出芽を阻害する可能性が示唆された。PGG あるいはその類縁体の抗 IAV 薬としての開発が期待される。</p> <p>以上のように本論文は抗 IAV 薬開発のための創薬研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			